

小中合同交流会

小中一貫教育

学校便り

第19号

2017年12月8日

発行:大名小学校

校長 後藤 岳二

098-917-3328

十二月六日(水)に小中一貫教育の一環として、城北中(一・三年生の代表七十名)、城北小(六年生百三十三名)、大名小(三年生百四十三名)の計三百四十六名の児童、生徒が大名小の体育館に集まり、歌を通して小中合同交流会が開かれました。

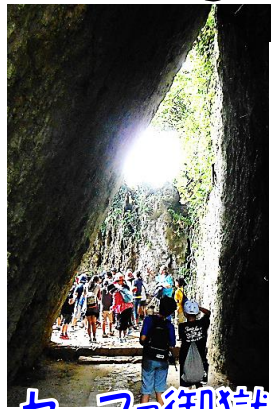
この交流会のねらいは、児童生徒の感動や創造性を育むとともに、中学校生活への夢と希望を高め小学生と中学生の一体感や所属感の育成を目指すことです。

中学生は、さすがにグラブ・リ・金賞受賞学級だけあり、男女の低音高音が響き合う素晴らしい歌声でした。城北小も六年生百三十三名の発表は、力強い呼びかけと、迫力満点の歌声でした。

大名小も三年生以上の手話を交えた軽快な歌声と五、六年生の心に響く群読と木琴・鉄琴・オルガンを交えた平和の歌でした。



思い出に残る自然教室になりました!



セーファ御獄

十一月三十一日(十二月一日)に五年生三十一名、引率六名で自然教室に行ってきました。とても素晴らしい自然教室になりました。

まず、大きなケガや病気がなかったということ。

次に、不安定な天気の中、計画したことがすべて予定通りにできたこと。

それから、学年の団結力をみせてくれたキャンプファイヤーとても盛り上がったこと。

また、五分前行動もきちんと守れ、すべてが予定通りに進めたこと。

この二日間で、とてもよい思い出ができたのでは、ないかと思えます。

五年生の皆さんには、この自然教室で身につけた力を今後の家庭生活や学校生活の中で生かしていただきたいと思います。



キャンプファイヤー



野外炊飯



ウォークラリー



キャンプファイヤー

